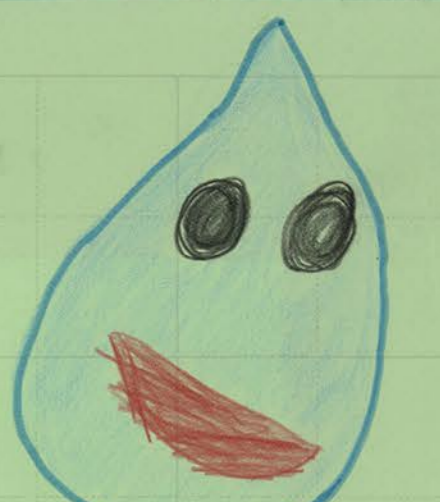
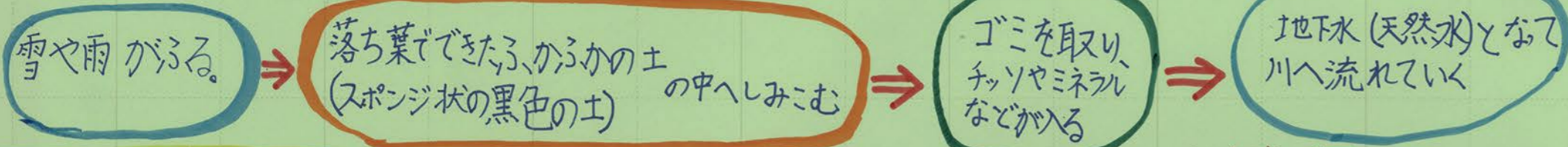


水のゆくえ



～水はどこから生まれるのが、そのヒミツにせまる！～

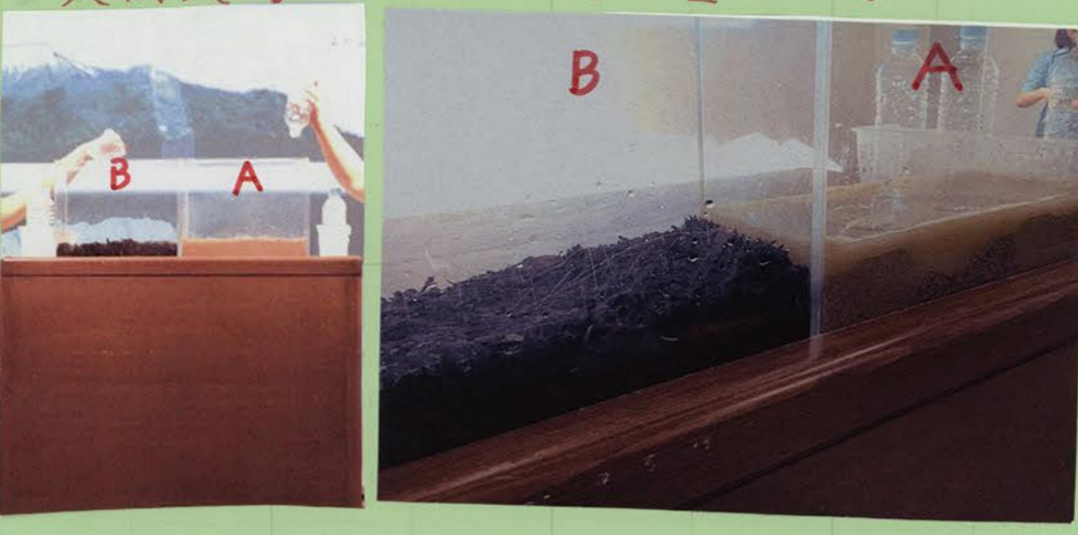
①鳥取県にある奥大山の天然水の工場②カキのようしょく場見学へ行く



- 地下水(天然水)になるまで約20年かかる。
- 地下水(天然水)ができたおみづは、土にいた。

実験...それぞれの土に水を入れてくらべる

A 運動場などのかたい土	B ふかふかの土
雨がしみこみにくい。	雨が地面にしみこむ。
大量のどろ水が洪水のように、すいずつ川に流れた。	



分かったこと

- ふかふかの土は、たくさんしるりの木の落ち葉が積み重なってできる。
- この奥大山には、ブナの森、トチノ木やホオノキなどの自然いばいの森がたくさんありふかふかの土がある山に雨がふることで、おいしい地下水(天然水)ができる。

大山探検

- 道を歩いた時ふわふわしてやわらかい歩きごちであった。
- 真夏でもひんやりして気持ちよかった。
- 川の水をさわたらつめたくて氷水のようにだった。
- ほくたちの町の空気より、スーとして空気がおいしかった。



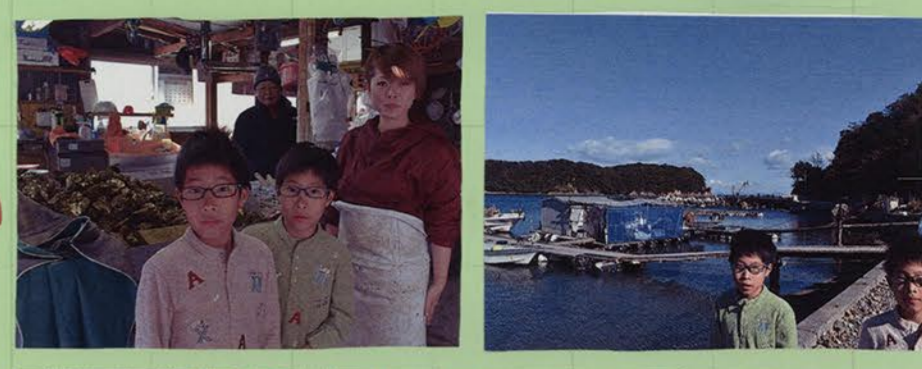
思ったこと

- 地下水(天然水)ができるまで約20年だと聞いて、びっくりした。
- 今年ふった雨は、20年後の2037年に、おいしい水ができるので、その時まで楽しみにしていたい。
- 大山は空気もおいしくて、自然が豊かなので、おいしい水ができるのも、よくできた。

鳥羽市浦村町や安楽島町で、カキのようしょくをしている。
このカキをわいてレモンをかけて食べたら、たいへんおいしかった。

ちゅうしげき
がき屋さんにインタビュー

- カキは、山からのえいようが海へ流れてきて、そのえいようでおいしいカキが育つ。
- 鳥羽市のカキは1年間で春と梅雨に雨が多くと、甘がおいしくなる。



鳥羽市の海は、太平洋の北上する黒潮と伊勢湾に流れこむ木曾川、宮川など、山と海のプランクトンが潮の満潮と干潮によりまざり合、カキが好むエサのプランクトンが豊富にできる。だから、おいしいカキが育つのだ。



分かったこと

- 川から海へ、えいようが流れること。
- 梅雨に雨が多くと、川からえいようのある水がたくさん流れてくるからプランクトンが豊富になりカキがたいへんおいしくなること。



クイズ
カキはどのようにして生きているのでしょうか?
①石の中にある ②動いて岩場にく ③動かない



③大台町大杉谷で自然林の植樹に参加

大台町は、13回日本一の清流に選ばれたことがある宮川、登山で有名な大台原山系の大杉谷けい谷がある。また、大雨が多く山から大水が流れてきて、災害よくおきる場所でもある。今回の大杉谷はユネスコパークに登録された場所である。

植樹の目的

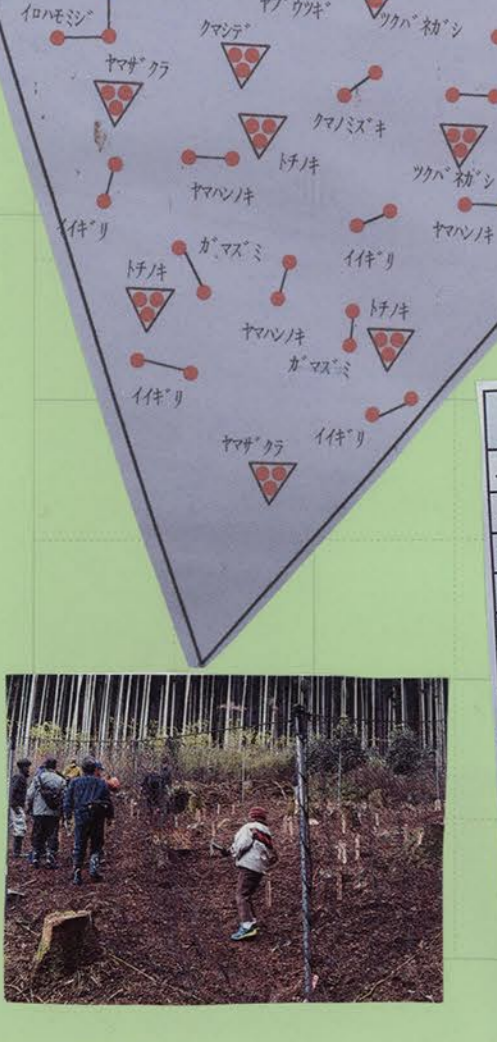
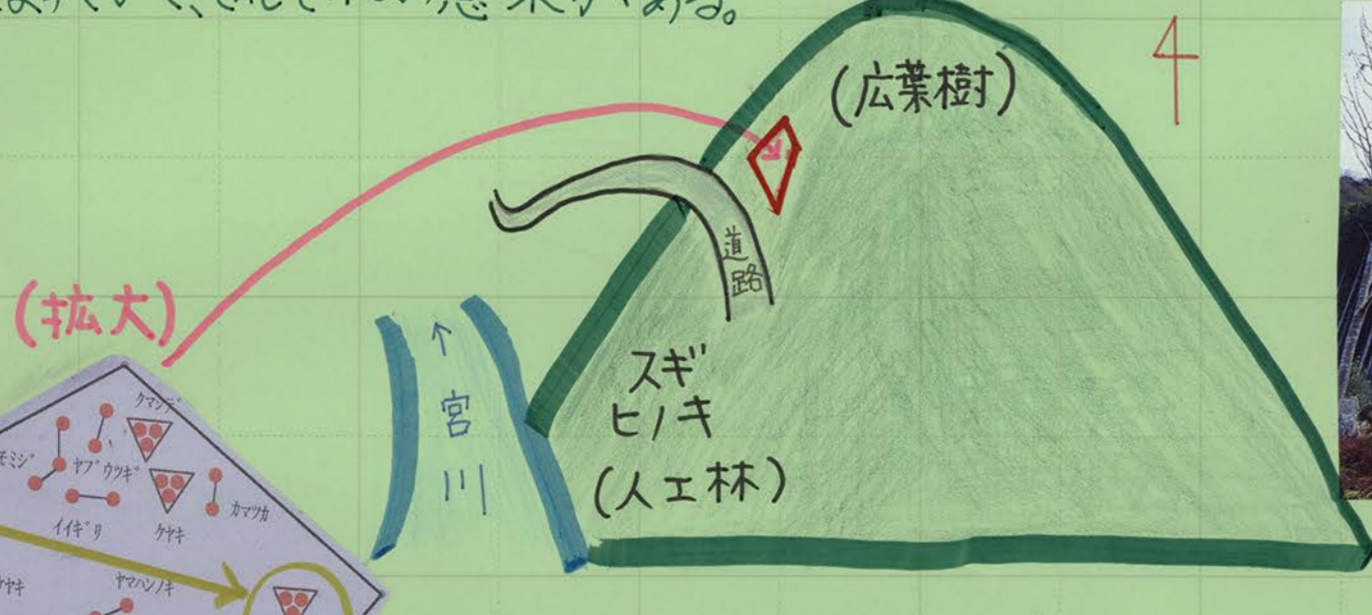
山くずれをふせぎ、水をきれいにするために自然林を植える。

植樹の方法

- スタッフが立地条件(地質、地形、土壌、光、水など)を調べて、その場所で育つ木を考え植える木の配植図を作成し、この通りに植樹をする。
- 同じしるりの苗木(約50cm)をいっしょに植える。この主な理由は、競争し合い、早く大きくなり、木だけが育つようにするため。

配植図

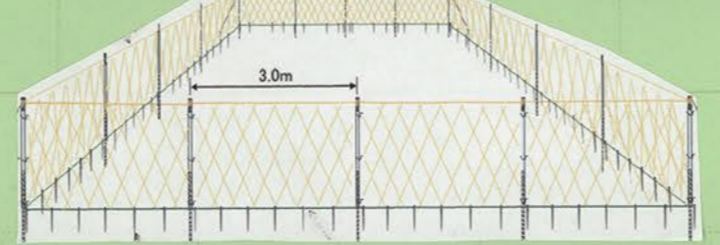
- この図は、自然な森になるように針葉樹や広葉樹を組み合わせたり、高木から低木までさまざまな大きさとしるりの木が共に生きようとする。
- それぞれの木にちがいがあることによって、自然に変化しながら一つの自然な森になっていく。このように、木一本一本が植える場所が決まっています、それぞれの意味がある。



樹種名	本数
イイギリ	12
イロハモミジ	9
ガマズミ	4
カマツカ	4
クマシデ	6
クマノミズキ	4
ケヤキ	9
シラキ	4
ツクバネガシ	6
トチノキ	9
ヤブツツギ	4
ヤマザクラ	9
ヤマハンノキ	10
総計	90

シカの柵

シカが、へではなく、オリとを感じる形で囲む。そうすることでシカは、オリとかんちがいて柵へは入らない。
柵の高さ1.8mで、開口は12m×12mの正方形になり、たりたり6m×横18mの長方形になり、または台形になり、場所に応じて変わる。



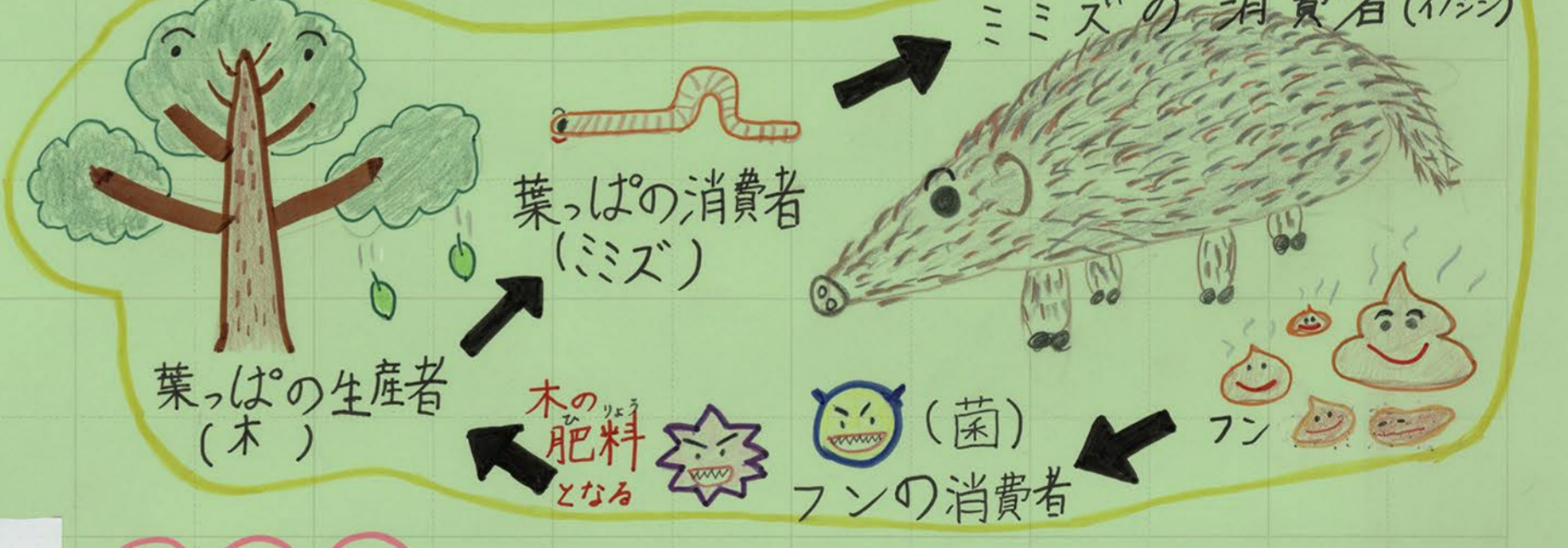
分かったこと

- おいしい地下水(天然水)ができるためには、自然豊かな森づくりをおこなうことが必要だということ。
- 鳥羽市のカキは、宮川などの水が伊勢湾へ流れこみ、海水とまじることにより、おいしいカキができること。

困ったこと

イノシシがミズを食べつくすこと!

- 植樹した場所の近くをスタッフに案内してもらった時、イノシシがミズを食べた穴がいっぱいあることを教えてもらった。その場所は、柵もないので、イノシシが満腹になるまでミズを食べつくしてしまうと、ミズがいなくなると、ミズが落ち葉を食べてえいようたふりのふかふかの土のちがいができなくなる。
- イノシシは、ミズを食べても、落ち葉は食べてくれない。落ち葉を食べる生き物がいなくなると、ふかふかの土ができません。そして、自然豊かな森が育たない。
- イノシシやシカがふえたことで、山や森のめぐみが食いつくされてしまい、人里にまで食べ物を求めてやってくるようになった。



まとめ

宮川の全長は約91kmで、伊勢湾へ流れるまでには町中も通るので、河川へゴミを捨てたりしないでほしい。20年もかけて、やっとできた地下水(天然水)が川の水に含まれているので、一人一人が川をよごさないようにしてほしい。

水のことを調べたら、森づくりと関係していることが分かり、思いもよらなかった。



こどもエコクラブ壁新聞 (平成29年度)

クラブ所在地: 三重県 津市 市区町村

クラブ名: なひがんばる隊

全国事務局使用済 記入しないでください

幼児クラブの審査を希望 (平成29年度/2017年度 応募作品)